

西方寺

西方寺は竹原のまちなみ保存地区を見下ろす丘の上にあります。地元のランドマークは、城に似た大きな石の壁と展望台で有名です。もともとは 1560 年に近くの町に建立され、602 年に火事で破壊され、現在の場所に移されました。観音堂は、京都の清水寺から着想を得て 1758 年に建てられました。展望台からは、町並み保存地区全体と周辺の風景を眺めることができます。

ホールには、慈悲の菩薩である観音（観音菩薩）の顕現である十一面観音が祀られています。境内には江戸時代（1603～1867）の竹原の俳句の記念碑である麻刈塚があります。

大林宣彦監督の不朽の名作、1983 年の映画「時をかける少女」により、このお寺は有名になりました。西方寺は町の景観の重要な一部で、竹原の多くの場所から見るすることができます。竹原市重要文化財に指定されています。